

# 育成センターだより

編集・発行 千曲市少年育成センター  
事務局：千曲市教育委員会 生涯学習課内  
お問い合わせ：TEL 273-1111 内線 6341

## 【児童・生徒の教育相談】

- \* 相談日・時間  
土・日曜日及び祝日を除く毎日  
AM9:00～PM5:00
- \* 場 所  
市総合教育センター内（埴生中学校敷地）  
教育相談センター  
電話相談・面接相談 273-5105（直通）  
(秘密厳守)

## 【青少年の生活相談】

- \* 相談日・時間  
原則として月・水・金曜日とします  
AM9:00～PM4:00（要・予約）
- \* 場 所  
千曲市役所 戸倉庁舎 3階  
少年育成センター（生涯学習課内）  
電話相談・面接相談 273-1111（内線 6344）  
(秘密厳守)

### 今月の家庭の日 7月16日（日）

今月は「青少年の非行・被害防止全国強調月間」です。万引き、自転車盗など子どもの非行や犯罪を防ぐために、親子の会話を増やし、子どもの規範意識を高めましょう。

### メールでも相談をお受けします

（24時間受付）

[E-mail : youth@city.chikuma.nagano.jp](mailto:youth@city.chikuma.nagano.jp)

相談員がメールでお答えします。  
(秘密厳守)

### 挨拶は心を育てる

更埴地区児童センター職員

新年度が始まり三ヶ月ほど経ち、新一年生もすっかり児童センターにも慣れてきました。しかし慣れてくると我もできてトラブルも発生します。子ども達はそうした場面を経験として学び、社会性を身に付けていきます。

児童センターでは良い人間関係を築くうえで、友だちとのコミュニケーションのきっかけとして「挨拶」をととても大切にしています。以前参加した研修会で、挨拶をきちんとできる子どもは、他の友だちとの関係が上手くできる基礎力が育ち、相手の心とのコミュニケーションをとれる力が育つ、との講話を受けました。この時期、身に付いた習慣は大人になってからも持ち続けることができるので、私たち職員が手本となり、声をかけた子ども達とのコミュニケーションを図っています。

最近では共働きが増え、忙しさのあまり会話が減り、食事も家族全員が揃って会話を楽しみながら食卓を囲む姿が少なくなってきたという話も聞きます。家庭でも「挨拶」の習慣を是非見直していただき、みんなが笑顔で「挨拶」する環境が整えられたら良いと思います。

児童センターでは気持ちを伝える言葉も「挨拶」と同じくらいに大切にしています。子ども達が素直な心で口にできるような心がけています。例えば「ごちそうさまでした」「ごめんなさい」でも口先だけの言葉ではなく、心を込めて

気持を伝える言葉が素直にできるように、  
相手がある時には  
相手の目を見て、

心がある「挨拶」ができる子ども達に  
育って欲しいと願っています。



第3日曜日は家族ふれあう「家庭の日」 増やそう会話、つくろう思い出！

— 自然から学ぼう心の豊かさを —

## 6月の育成センター会議より

6月30日に、育成センター会議を行い、以下の事項等について協議・連絡をおこないました。

### 1 7・8月の補導計画について

- (1) 通常補導 巡回時間：午後5時～7時
  - (2) 夏祭り補導 戸倉・上山田地区 7/15 8/ 7 巡回時間：午後8時～10時  
屋代・埴生地区 7/28 8/11 巡回時間：午後7時～ 9時
  - (3) 夏休み中の補導委員と学校職員・PTA役員との合同補導  
戸倉・上山田地区 7/31 8/ 1 8/ 2 8/ 3 8/ 4  
更埴地区 7/26 7/27 7/28 7/31 8/ 1 8/ 2 8/ 3 8/ 4
- 2 環境チェック活動 7/ 5・6・7・10・11 補導委員が9小学校区ごとに分かれて店舗等を訪問する
- 3 7月強調月間啓発活動 7月3日(月) 午前7時～ 屋代駅前で行う
- 4 長野県補導活動推進大会について 7月14日(金) 飯山市飯山文化交流館：なちゅら



## 補導日誌から



### 落ちついてます

5月15日(月) 4:30pm～6:30

更級児童館を訪問しました。夕方のおやつの後で、静かにDVDを見ながらお迎えを待つ時間帯でした。仲良くなった子どもが、私の手帳に上手に私の似顔絵を描いてくれたり、昆虫博士の子がノコギリクワガタを描いてくれました。宝物になりました。その後、姨捨駅へ向かいました。姨捨駅はくつろぎの駅というだけあって、木の香りのするトイレや待合室になっており、居心地の良い所でした。

### 使いやすい公園で楽しく遊んでほしい

5月16日(火) 4:30pm～6:30

稲荷山公園・伊勢宮公園・ねむの木公園・更埴中央公園・五十里公園・杭瀬下公園と、公園を中心に巡回しました。各公園のトイレはきれいに使用されており、問題はありませんでした。多くの公園が、子ども達でにぎやかでした。サッカー、ドッジボール、遊具等で遊ぶ子どもが多く見うけられました。ボール遊びの注意と帰宅時間を守って遊ぶよう声をかけました。

### 元気な子どもから元気もらう

5月17日(水) 4:30pm～6:30

屋代駅では上り下りの電車が到着し、混雑していました。ただそこでたむろする人もなく、数分で静かになりました。放置自転車はなかなかなくなりません。自転車のカゴに空き缶や空きビンが投げ込まれていました。八幡の辻区公民館周辺を巡回しました。公民館では習い事の塾をやっており、その横の公園では子ども達が元気よく遊んでいました。挨拶も元気にしてくれ、私達も子ども達から元気をいただきました。

### 楽しいけど気を付けて

5月24日(水) 5:00pm～7:00

稲荷山公園では、ブーメランを使い7人ほどの小学生男子が大さわぎ。駆け回って遊んでいました。ブーメランはプラスチック製で厚みもあり、大きさも40cmくらいです。かなりのスピードで飛んで

いたので、少し危険を感じました。充分気を付けて使うように注意をして帰りました。

### 心がいやされます

5月26日(金) 5:00pm~7:00

ねむの木公園では、中学3年生の女子2人が仲良くバドミントンをしていました。中間テストが終わり、気分転換でバドミントンをしているのだそうです。テストの結果も教えてくれました。家に帰ったら、勉強をしっかりとしてくださいと励ましました。わかりましたと返事がありました。中学生、特に女子が公園内でバドミントンに戯れる姿は、最近見かけた覚えはありません。無邪気な2人の姿に心がいやされた瞬間でした。

### つながる気持ちよさ

5月30日(火) 5:00pm~7:00

5月というのに今日も30度を超える真夏日。そんななか、公園では元気に遊ぶ子ども達と沢山出会うことができました。更埴中央公園では野球に興じる子ども達がありました。前回の巡回時にグラブとボールの忘れ物があったので、用具の忘れ物には注意をするよう声をかけました。大きな声で返事が返ってきました。屋代駅、屋代高校前駅では、帰路に着く高校生や中学生が元気に挨拶をしてくれて、気持ち良かったです。

### 遊びの切り上げが見事です

6月5日(月) 5:00pm~7:00

科野の里ふれあい公園、午後5時50分。帰り支度をしている子どもに声をかけました。帰りの約束時間午後6時には10分早いのですが、家が遠いので早く帰るとの事、感心しました。月曜日は部活の日なのに中学生がいたので「今日は部活の曜日だね。」と声をかけると、水曜日と繰り替えになったとのことで納得しました。公園内のトイレを見回りました。午後6時になったら、30人程いた小学生がいつの間にかいなくなっていました。これには感動しました。

### こころに響く「すみません」

6月7日(水) 5:00pm~7:00

黒彦神社境内は、大変元気な子ども達であふれていました。小雨にもかかわらず、珍しい光景でした。自転車が脇道に止まっていました。サッカーや自転車乗りなど3・4年生が15人ほど遊んでおり、青パト車の進行を見ると、素直に自転車を片付けてくれました。おかげで、声かけが自然とできました。「こんにちは!」「すみません!」という挨拶や素直な行動が大変気持ちがよく、心に響きました。

## 編集室の窓

### 礼を尽くす…いつでも・どこでも・だれにでも

車を運転していた時のことです。信号のない横断歩道に母子が立っていたので、止まりました。手をつないで頭を下げながら、目の前を二人は渡って行きました。渡り終えた時に子どもはそのまま行こうとしましたが、母親は違いました。こちらへ向き直り再度お辞儀をしたのです、驚きでした。

子ども達がやっている姿には度々お目にかかります。補導日誌にも時々その爽やかさが記されています。お礼を言って渡っていく大人の姿には出会いますが、「向き直って改めてお辞儀」という大人の姿に出会った記憶はありません。子ども時代にはよくやっていた「礼を尽くす立ち居振る舞い」も、その多くは成長するにつれて失われていきます。失われてということではなく、形を変えているのかもしれない。「そこまではやらないけど、心の中では感謝している…」というように。

子ども達も、一般社会ではそこまでしなくてもよいことを徐々に知っていきます。私もご他聞に漏れず、そこまでしなくてもよいという合理的な常識人になっていました。いつでも・どこでも・だれにでも…礼を尽くすとはそういうこと、たまたま目にした母親の美しい姿から改めて教えられました。

子ども達が、粘り強く意欲的に取り組んでいくためには、夢や目標をもち、その達成に向けて取り組むことが何よりも大切です。今の子ども達には夢がない、と言われていました。そんな子ども達が、どんな夢をもち、どのように立ち向かっていこうとしているか「5年生の夢」を紹介します。

ぼくの夢は大工さんになることです。ぼくは2年生の時に戸倉小学校に引っこしてきました。その時にぼくの家を大工さんが建ててくれました。その大工さんの仕事の様子を見て、ぼくも大工さんになりたいなあと思いました。ぼくが大工さんになったら、みんなが住みよいくらしができる家を建てたいです。また、大きな地しんが起きて、30年、40年経ってもくずれない、じょうぶな家を作りたいです。

ぼくは、この先ちがう夢を持つかもしれないけど、しっかり自分の夢に向かっていきたいです。そして、もし、ぼくが大人になって大工さんになったら、毎日一生けん命に仕事をして、ぼくの作った家に住む人が、笑顔で安心してくらせるように、がんばりたいです。この夢に向かってこれからもがんばっていききたいと思います。(加藤 優誠)

私のしょう来の夢は栄養士です。栄養士になりたいと思ったきっかけは2つあります。私は料理を作るのが好きです。最初のころは、あった食材をレシピなどを見て料理をするだけでしたが、だんだんと慣れてきて、材料を自分で買いに行くようになりました。私は体に良いものが入っているものを食べたいと思って、何が入っているのか見ても、何が体によいのか、何が体に悪いのか分かりませんでした。それで、食べ物についてくわしくなりたいと思ったのが、一つ目のきっかけです。二つ目は、給食センターの栄養士さんのお話を聞いて、すごいなあと思ったからです。栄養士さんは、ほぼ毎日、栄養を考えながら、給食のこんだてを作らなければいけないと分かり、私もあんな風になってみたいなあと思いました。

私は栄養士になって、人々の健康の役にたちたいと思っています。しょう来、栄養士になるために、今から料理のお手伝いなどをして、がんばって栄養の勉強をしていきたいです。(山本 絢香)

わたしのしょう来の夢は、二つあります。

一つ目は新体操でオリンピックに出る事です。わたしは、小さいころから、体がやわらかかったので、バレエに入ろうと思ったけど、新体操クラブに入りました。新体操には、ボール、フープ、クラブ、ロープ、リボンの5つの手具を使った演技と、手具を使わない徒手があります。わたしが好きなのは、ボールとリボンです。毎日じゅうなんをやって、オリンピックに出られるように頑張りたいです。

二つ目は、学校の先生になる事です。小さい子の面倒を見るのが好きなのと、運動や勉強や音楽が好きなので、ずっと子供達といっしょに運動をしたり、歌を歌ったり、勉強を教えてあげたりしたいです。そのために、勉強をしっかりやって、ピアノも頑張って練習したいと思います。好きな事は続けられるので、楽しみながら、夢に向かって努力していきたいと思います。(小林 万桜)

ぼくのしょう来の夢は、サッカー選手です。ぼくは、サッカーが大好きなので1年生から今までずっとサッカーを習ってきました。1年生のころは、あまり上手ではありませんでした。でも、どんどんやっていると、少しずつ上手くなっていきました。試合でも上手くなってくると、点を決めることができるようになってきました。点を決めるのは、すごくうれしいです。点を入れる時、一人でドリブルをして決めるより、みんなでパスを回して点を取る方が、うれしいです。なので、ぼくは、みんなで協力するのは、すごくいいことだと思いました。1年生とか2年生の時は、負けることもあったけど、最近ではたくさん勝って、大会ではゆう勝することもありました。サッカーは楽しいスポーツです。大変な時もあるけど、ぼくはサッカーが大好きなので、これからもサッカーを続けて、強いサッカー選手になりたいです。(山岸 司)

